

2018年10月 11日
第107号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

10～11月「**憲法闘争総行動月間**」を成功させよう!

3000万人署名を達成させ、改憲を阻止しよう!

全労連憲法闘争本部会議で意思統一

全労連は10～11月を「全労連憲法総行動月間」と位置づけています。10月5日「第1回全労連憲法闘争本部」を開催し、単産・ブロックの代表ら22人が参加しました。3000万人署名や沖縄県知事選での取り組みなどを交流。「さらに署名を推進するにはどうしたらいいのか」「臨時国会で改憲発議をさせない」「安倍改憲を阻止しよう」と意思統一しました。

開会あいさつで小田川議長は沖縄県知事選にふれ、「無党派層の7割が玉城氏に投票し、辺野古に基地は作らせない、翁長県政を引き継ぐということに期待が寄せられた。中身を分析する必要はあるが、参院選の1人区取り組みにも繋がる」と話しました。「3000万人署名を秋闘から春闘にかけて、目標達成をどう作っていくか。到達点をどう政治的に反映させていくか。臨時国会で改憲発議をさせないための具体的な取り組みを深めていく必要がある。くらしとかかわる問題として深め、学習を強化していこう。発議させない、参院選で自公を3分の2割れに追い込むため、深く意思統一をしていくための議論を」と呼びかけました。

長尾副議長が情勢を報告し、当面の取り組みについて提案しました(別掲)。

●参加者の発言・交流から

『労使共同宣言』『職場憲法宣言』に取り組んできた。『憲法があるから経済要求も堂々と出せる』と討議しながらスト権を確立している。仕事・生活と憲法を結ぶ議論をすすめている(福祉保育労)。

「青年部が全教青年部を見習い、『9条にカンパイ』の取り組みをしている。プラカードを掲げて写真を撮り、本部に送る。プラカードの裏に、なぜ改憲反対に取り組むかが書かれていて読み合わせ学習を行う。戦争に協力しない労使協定や共同宣言をする取り組みがされている(医労連)。

「8～9月をゾーンとして設定。表面は独自チラシとした署名用紙を作成した。全員に当たりきると取り組み、90数パーセントにあたった組織もある。郵送作戦、受取人払いの封筒を作成して工夫している(全教)。

「3000万人署名は岩手で、目標の6～10倍を達成している。意見交換が大事。学習と対話、セットの取り組みが重要(自治労連)。

「9/19に大会が開かれた新横浜で、160人でスタンディングを行い盛り上がった。機関紙では毎号、憲法課題を掲載している(生協労連)。

「福岡、長崎では目標を達成している。担い手をどう広げるか。戦争は好きか嫌いかと尋ねて、嫌いならこの署名に書いてほしいとストレートにやっている。多職種があるので相互間交流を行い、訴えが苦手だった組合員が訴えられるようになったという経験も生まれている(建交労)。

「地域の共同は1986年以来ぶりに集会が開かれた地域がある。安倍9条改憲NOで集会、県庁前スタンディング、学習会を行っている。全県的取り組みとして10月14日に革新懇で東京新聞の望月衣塑子記者を呼んでの集会がある」（東北ブロック）。

一方、3000万人署名の取り組みが停滞しているという率直な意見が多数出されました。新たに運動をすすめていくためのグッズについて検討することになりました。

沖縄県知事選挙については、「支援に行った人が元気になって帰ってきた」という意見が多数報告されました。

閉会あいさつで野村事務局長は「3000万人署名、改憲を許さないという意思統一がされたことを確認したい。一段落感が蔓延すれば安倍改憲を許すことになる。私たちの運動がじわじわと効いている。安倍は改憲を言い続けているわけで、3000万人に達していない以上、方針を立てたのだから達成させる責任と義務がある。職場・地域での取り組みを分析し、たたかいをすすめる。厳しい状況であっても工夫していく。臨時国会で発議させない、3000万人署名を進めるために地域に足を踏み出し、改憲の息の根を止めよう」と呼びかけました。

(別掲)

*当面の憲法闘争について

(1) 3000万人署名の目標を確認し、早期に達成する。

①目標を再度確認し、やりきる。

全労連・目標 500万人 到達 246万6834人 9月末の到達を確認する。

署名提出については、臨時国会の様子を見ながら判断する。

署名用紙を増刷(40万枚)して、再度、署名行動を開始する。

なぜ、その目標を立てたのか、各組織で意味を再度確認して、やりきる手立てをとる。

②すべての職場の取り組みにする

・署名用紙が届いていない職場はないか。

署名用紙を届けに訪問する。執行委員と一緒に署名に回る

③全組合員の運動にすることを最も重視する。

・「一人〇筆」という目標を立てている組合は、それをやりきるための手立てをとる。

・職場の全員に声をかけたか。・組合員の家族・知人・友人に声をかけたか。

④地域ローラー作戦や、一斉宣伝行動なども計画し、組織の目標をやりきるための手立てをとる。

⑤秋期年末闘争・春闘の中に重要課題として位置づける

・意思統一集会を行う。集会が困難でも、全労連アピールを読みあう場をつくる。

・署名用紙・チラシ・リーフなどを読み合わせする。

(2) 憲法学習を広げ、10人に1人の「職場で憲法を語る人」を育てる

①安倍改憲に打ち勝つ一番の力として、「職場で憲法を語る人」をつくり、育てる。

②職場での憲法カフェ、ミニ学習会にとりくむ。暮らし・雇用・労働を守る課題と連動して学習をすすめる。

③リーフやチラシの読み合わせなど、分会会議や執行委員会で、3分間憲法学習を習慣にする。

③11月4日(日) 憲法共同センター学習交流集会を成功させる。

10:30~16:00 全日通会館 講演・五十嵐仁さん、国会議員の報告、交流など

④各地の憲法学習会、共同センターや市民アクションの学習会に参加する。その成功に力を注ぐ。

(3) 宣伝行動を旺盛に展開する。

①9の日行動、会議前宣伝など定期的に宣伝する。宣伝カーを回す。

- ②地域を変えることを考えながら、学校前宣伝やスーパー前宣伝を計画する。
- ③11月と5月の「9の日宣伝」については、全労連500カ所宣伝行動にとりくむ。
- ④市民アクションが呼びかけている、10月26日～11月3日の「3000万人署名推進週間」を成功させる。この期間に、各組織で一回以上、宣伝行動にとりくむ。
- (4)「正念場のたたかい」として、国会行動、中央集会を成功させる。それとともに、地方での市民アクションの共同を中心にした集会や行動を成功させる。
- ①11月3日「止めよう！改憲発議 この憲法で未来をつくる！ 11・3国会前大行動」を数万人規模で成功させる。全労連は、10000人を目標に成功のため奮闘する。
- 同時に、この日、各地で集会が予定されている。それぞれの成功に向け、奮闘する、
- ②毎月の「19日行動」を、中央でも地方でも成功させる。
- (5)国会議員への要請、地方議員への要請などをすすめる。
- ①国会議員へ要請FAXを受ける。(憲法審査会メンバーにまず送る)
- ②国会議員の地元事務所を訪問し、要請する。
- ③地方議員への要請を行う。地方議会での意見書採択について検討する。
- (6)野党共闘推進に役割を果たすとともに、地方選、参院選勝利に力をつくす。
- ①各地の市民連合のなかで積極的な役割を果たす。
- ②4月いっせいで地方選挙・7月参議院選挙での勝利が、安倍改憲を許さず、憲法を守りきる決定的な保障となる。勝利に向けて奮闘する。
- (7)沖縄県知事選で示された民意の実現を求めて、辺野古新基地建設反対・普天間基地の無条件返還を求めて、ひきつづきとりくむ。各地へのオスプレイ配備、自衛隊の任務拡大など、様々な戦争法の具体化を許さないとりくみを強める。マスコミ・教育への権力の介入、職場の自由を奪う動きなどを許さないたたかいを強める。

*憲法闘争の節について

- ①10月～11月「全労連憲法闘争総行動月間」
- ・職場集会を開き、全労連アピールを読み合せて意思統一する。
 - ・11月9の日行動については、全国500カ所にとりくむ。
 - ・臨時国会開会日行動にとりくむ。 10月24日(水)
 - ・11月3日(土・祝)「止めよう！改憲発議 — この憲法で未来をつくる 11・3国会前大行動」を成功させる。 13:30～15:30 国会正門前、 **共同センターは図書館前**
 - ・各地の、11・3行動、19日行動を成功させる。
- ②12月～4月 春闘の最重要課題の一つとして憲法課題を位置づけ、とりくむ。
- ③5月～6月 全労連憲法運動強化月間

●東京 オール大塚で定例宣伝

安倍批判続出!!

「安倍首相に早くやめてほしい。参院選でなんとかしたい」

オール大塚は10月9日昼、大塚駅南口にて定例の宣伝行動を実施し、11団体42人が参加しました。

3000 万人署名を 57 人分集め、チラシ 150 枚を配布しました。

・70 代女性「安倍首相は、拉致問題をはじめ、年金や社会保障問題など、国内の問題をなにひとつ解決していない。そんな中、海外に自衛隊を送り込むことがあってはいけない」

・60 代女性「41 歳の娘婿が海上自衛隊員なので、戦争に行ってしまうのではと心配。9 条がなくなれば歯止めなく自衛隊が使われてしまう」。

・70 代男性「モリ・カケ、公文書問題がひどい。参院選に勝利して、政治を変えたい」

・50 代女性「安倍首相に早くやめてほしい。参院選でなんとかしたい」

・50 代男性（中国人の方）「中国から日本にきて 30 年が経つ。永住権はあるが選挙権はない。野党にもっと頑張ってもらいたい」

本日の宣伝では、安倍政権への批判が強まっているのと同時に、「参議院選挙で政治を変えたい」という意見が多く寄せられました。これまでの宣伝での対話は、「安倍政権への批判」が主でした。そこから一歩進み、政治を変える方法は「選挙」という認識が広がっている様子でした。

当面の行動

■10月14日（日） 13:00 開会 14:00 デモ出発

「原子力空母はいらない! 10・14 横須賀集会」

横須賀市ヴェルニー公園（JR 横須賀駅下車徒歩 1 分、京急汐入駅徒歩 5 分）

■10月19日（金）18:30～ 10月の19 行動 衆議院第2 議員会館前

■10月24日（水）12:00～13:00（予定）臨時国会開会日行動

国会議員会館前

■10月24日（水）14:00～15:30 国連 軍縮行動デー宣伝 新宿駅西口

■10月29日（月）18:30～20:30 憲法共同センター第5 回総会

全労連会館 2 階ホール

■11月3日（土・祝）13:30～15:30

「止めよう! 改憲発議—この憲法で未来をつくる 11・3 国会前大行動—」

国会正門前（憲法共同センターは図書館前）

■11月4日（日）10:30—16:00 憲法共同センター学習交流集会

全日通霞が関ビル 8 階 大会議室 B 東京メトロ 銀座線 『虎ノ門駅』 5・6・11 番出口より徒歩 5 分、千代田線・日比谷線 『霞ヶ関駅』 A13 番出口より 徒歩 8 分、丸ノ内線 『国会議事堂前駅』 2・4 番出口より 徒歩 8 分

* 講演 五十嵐 仁氏 * 国会報告・吉良よし子参議院議員

→<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2018/10/181104chirashi.pdf>

■11月9日（金）12:00～13:00 「9 の日」 行動